

【ものづくり 人づくり 地域づくり】



新年ごあいさつ

2016 年暮らしのお伴に常総生協を
常総生協のお伴は自立の「安」

理事長 村井和美

口出し手出しのお節介は暮らしの潤滑油。そんな便利骨頂の人サイクルは断たれて久しい。

ですが、やっぱりここ、この常総生協での復活を夢見ます。知らぬ間に拭われ失われ行く豊かな暮らしに、自然の理に根付く生命の故郷を見ます。

古い先輩はのたまいます。「ほつれもつれ直しは得意よ」、「よじれやつれ」もおついでに、と誘う達者様。点滅自動のぴっかぴかの灯りは無かったけれど、路地の落葉山の煙は、鼻をくすぐりお腹を鳴らしてくれたっけ。そんな匂う町並みに、繕いと彩りを添えた暮らしの出番、あの頃はどこへ行ったやら。

さあっ！と意気込む新年の初日は、何を言おうか前年に続いた翌日です。念入れて第二ステップの新年、今年こそは穏やかな「安の心」で進みませんか？みんなでやればみんなが出る。常総生活協同組合に集う仲間は、協同の意義と食は生命の理念に向けて、どうぞのご活躍をいただきたく、重ねてのお願いを致します。

ところで、初日の出を随分の前にして、辞書を開いて熟語を並べていました。「安心・安全・安康・安行・安定・安住・安堵・安寧・安泰・安逸・安居・安産・安静」、ふうっ、まだまだありますが手を抜いて、もしやの本命はきっと「安政」。

原発再稼働を止めない私たちの国。原発による被爆も汚染も被害も、何もなかったがごとくです。どんなにあがき叫び学ぼうと、事実を認めず、騙し隠して通る自治体と国。堂々「原発」は存する。が、福井地方裁判所法廷は「守られるべきは人格権が最高位」と、これぞの三権分立を示しました。善良なる世界市民総意の代弁を告げました。

対するは自治体、国の無心です。市民を踊らせる納め得の返り納税、党利戦略を前倒しての軽減税率操りは「への字」ものです。社会性を持って、命繋ぐ育みこそが政の執務であり大事業でありたい。子供たちの教材にデジタル教材推進も？はてなマークです。

私たちの願う最高は社会総体の健康です。その根源は、自然と伴の心と体の調和にあります。国民忘却、先行き読み無しのTPP行進で最果て国へ、政権はノンストップ政治。生命体の維持、命そのものは安心の食糧自給にあります。自然天然の恵みの農産物を、頭脳電源の、真の食べ物エネルギー源で、身体を作動させよう。お代は数えて支払おう。

道具使いで汗を出し、美味しさは台所から出

し、唾液も消化酵素も総動員。土台は根菜類で、心身腹調元気なりの家計を目指しませんか。そう、よく噛めば自動で栄養素が体内をめくるめく巡る。老廃物排泄排出も負けじの機能も自動です。「目・耳・鼻・口・汗腺・尿道・肛門・・・」、健康は安全安心ですか。身体の出入口は暮らしの窓、健康の伴です。

社会の健康の共有共存も、源泉は同じと思います。

新年からは常総生協に集うどなた様にも、安の心で健康な自然を全身でいただきましょう。

今、私たちの住居環境は社会規範や景観も整備が進んでいます。しかし、プラスワンの温もる安心で、無事で平和な暮らしの実現に、協同の力をプラスワン。

人と人が出会い、心が繋がり雲のように動いていく。そんな見える安住（＝生活や状況の満足）と安行（＝安心して行こう）で、それでもの注意を払いつつ、ともに前進しましょう。

自然と伴のしっかりの食べ物食べて、暮らしの「安」を自らが守ろう！

【速報】12/24 福井地裁 高浜原発再稼働差し止めの仮処分決定を取消し

12月24日、福井地裁（林裁判長）は、関西電力からの異議申立を認めて、「高浜原発」の再稼働差し止めを命じた4月の再稼働差し止仮処分決定を取り消しました。同時に「大飯原発」の再稼働差し止仮処分についても住民からの訴えを却下。関西電力は25日にも3号機に燃料を装荷し1月下旬には川内原発に続いて再稼働をしようとしています。

2014年5月、同じ福井地裁の樋口裁判長によって、日本ではじめて司法が原発の運転差し止の判決を下しました。

判決は「福島原発事故は我が国始まって以来最大の公害・環境汚染」と断じ、「生命を守り生活を維持する利益は人格権の中の根源的権利」、「豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していることが国

富であり、これを取り戻すことができないことが国富の喪失である」とし、新規制基準は確たる証拠のない脆弱なもので原子力の本質的危険性に対してあまりに楽観的」として大飯原発の運転差し止を命じたものでした。

さらに2015年4月には高浜原発の再稼働停止の仮処分申請に対しても再稼働を認めない決定を下していた。

樋口裁判長は最高裁によって名古屋家庭裁判所に異動を命じられ、関西電力はこの運転差し止の仮処分決定に「異議申立」をしていた。

国・電力会社による「樋口判決」潰しがはじまった。



TPP の虚実 (2) 国内農産物減への影響を小さく見積もる「農水省試算」

守ると約束した「国会決議」を無視してでも各国合意をとりつけて、7月の参院選前に対策補助金をバラまく政治日程で「大筋合意」を演出した TPP 交渉。



政府は、臨時国会も開かず、国会での批准や国内法改正手続きを踏まないまま、「もう終わったこと、既存の農家はつぶれても、企業参入による攻めの輸出農業振興のみ」というような雰囲気づくりをマスコミを総動員してすすめています。

○ TPP による農業生産減少額「農水省試算」 3兆円の減少→1000億円台へのレトリック?

農水省は、2年前の2013年3月に「TPP 参加によってほぼすべての農産物の関税がなくなり、大半の農産物は外国産に置き換わるとして、**農業生産額は3兆円減る**」と試算を発表していましたが、今回の合意（農林水産物の81%関税撤廃）で、その影響は**1,000億円台の減少にとどまる**という試算を発表するとの情報が事前にリークされています。その理由は

- ①関税撤廃が農産物の81%に留まった。
- ②影響の大きいコメ、牛豚肉、乳製品は関税を維持できた。
- ③関税撤廃の期間も最長20年を確保できた。
- ④前回の試算は国内対策を何もしない前提での試算だった。今回「TPP 関連政策大綱」による国内対策を考慮して試算した。

この原稿を書いているのが12/24夕。今日クリスマスイブには、福井の高浜原発の仮処分決定の異議審判と同時に、内閣府 TPP 政府対策本部から「TPP の経済効果」が発表され、そこに農林水産業への影響試算が盛り込まれるとのこと。昼すぎに農水大臣官房に確認して夕方までには内閣府の HP にアップされる予定と伝えられたものの、夜になっても公表されません。内閣府に電話を入れるも、「今準備しています。アップの時間までは・・・」とのこと（内閣府 TPP 対策室の職員さん大変です）。

このニュースは1/5からの配布ですので、読まれる時にはその内容もすでに既知かもしれませんが、一国の食糧にかかわるたいへん重要なことですので、事前情報のみですがお伝えすることといたします。

というものです。

他方、プラスの経済効果は2013年の試算では**+3.2兆円**とされていたものが、今回の試算では関税以外の投資・サービスの自由化などの影響も含めて**+14兆円**になると発表する予定のようです。

この「試算」を大本営発表のようにして、またマスコミが無批判に国民に垂れ流して2015年を終わらせ、年明けは2015年度補正予算と2016年度当初予算で「TPP 対策費」のバラマキがはじまる。

自民党内からは「農水予算は最低でも1,000億円は増えないと選挙を戦えない」との声が出ている。**国民の食を売り渡して農家の票をカネ（国民の税金）で買う政治・経済とはいったい何か。**

【脱原発くらし見直し委員会より】地域の自治体での放射能検査状況まとめ

原発事故による汚染からまもなく5年。生協から供給されるものは放射能検査されて、現在ではかつてのチェルノブイリ事故の時と同様に原木しいたけが9ベクレル（セシウム137）が残っていますが、他の農産物・水産物はほぼ3～5ベクレル/kg 検出限界以下となっています。主食のおコメも常総市の2014年産「めぐみちゃん」で白米で最高地0.2ベクレル/kg、玄米で0.4ベクレル/kg にまで落ちています。

他方、自家栽培のものや、もらい物、身近にとれる菌茸類、タケノコ、山菜、果菜類（ゆずや柿、みかんなど）はついそのまま頂いてしまうことがあります。

そこで脱原発くらし見直し委員会では、自治体に持ち込まれた市民の持ち込み品の検査結果や、地元のJAの検査結果で公表されているものをまとめて判

断材料にしようと調査チームをつくって、そのとりまとめをすすめてきました。

昨年の季節ごとの作物の自治体・JA 検査結果を一覧にしていますので参考にして下さい。また裏面には特に注意が必要と思われた「たけのこ」と「しいたけ」の検査群の2011年からの年次推移をまとめてみました。参照ください。（**今週ニュースに同封**）



茨城・千葉 自治体によるセシウム検査状況

2014年秋～2015年夏

(2015年12月収集分まで)

自治体ホームページで公表
された値を表にしました
(市民の持込品やJA等)

市役所



脱原発と暮らし見直し委員会

セシウム検査データ収集チームより報告します。

福島第1原発の事故からまもなく5年、検査結果非公表の自治体があり、公表中の自治体でも持ち込み検体数の減少傾向が見られますが、セシウムの検出事例は依然として続いています。産地や測定器の状況、公表の原則などに違いがあり、単純な比較はできませんが、身の回りの状況を把握しておく必要があるのではないのでしょうか。

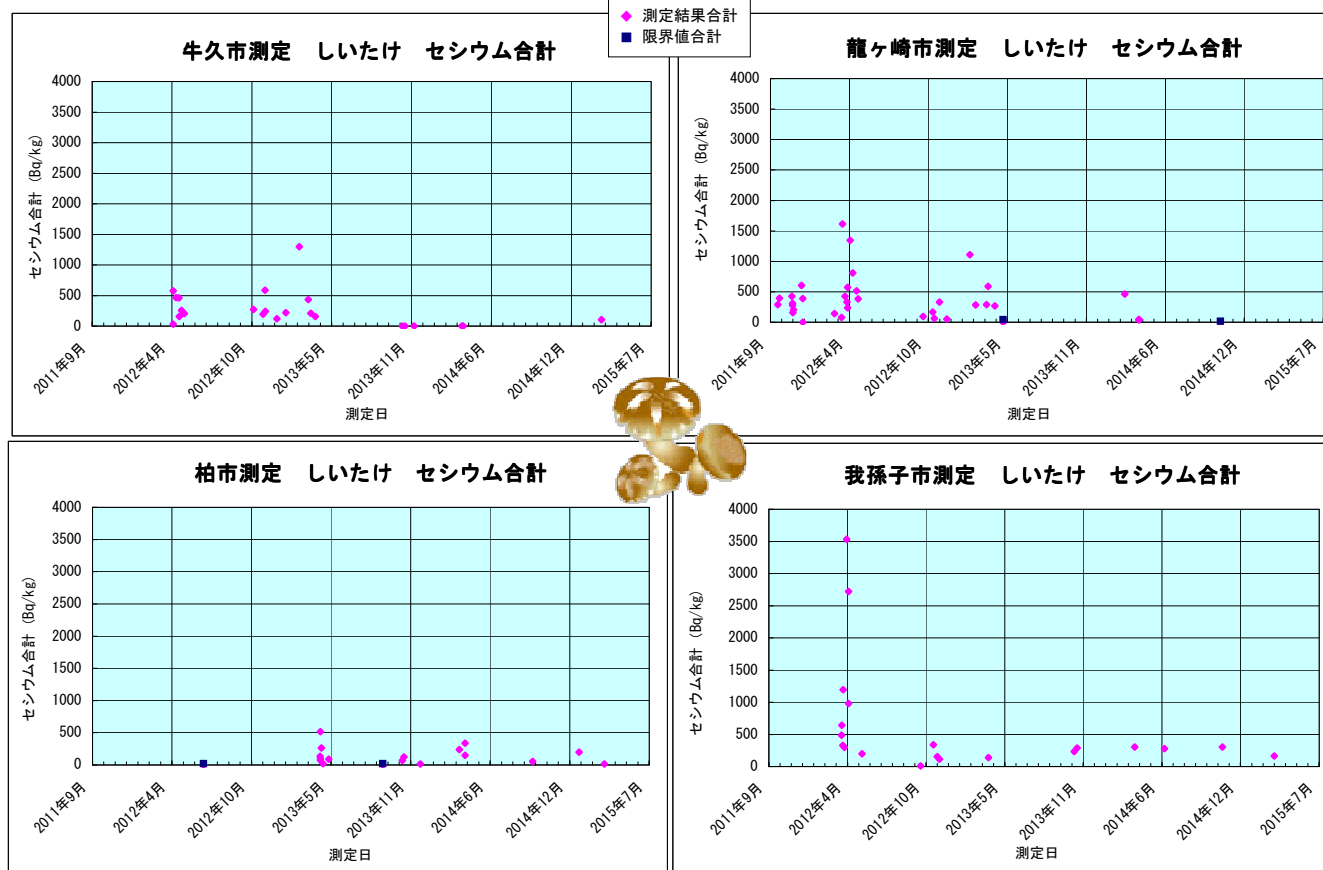
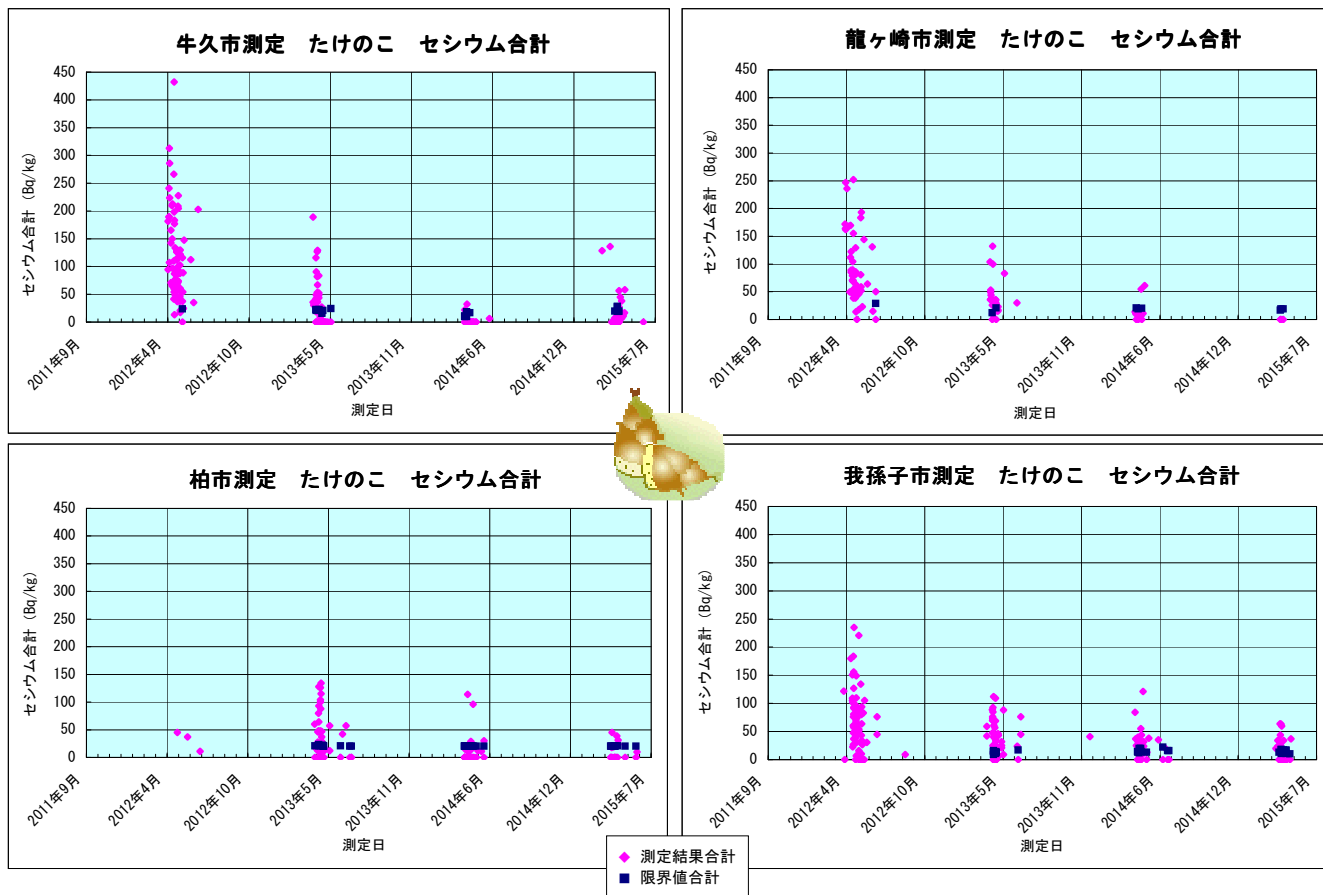
昨年10月から今年9月までの検査で検出されたセシウムについて、秋から夏の4季に分けて、期間中の最高値、その他の主な検出例、不検出(ND)となっている場合の検出限界値を一覧表にしました。又たけのこ及びしいたけについては事故後の推移をグラフにしてみましたので、参考にしてください。なお、詳しくは各自治体のホームページをご覧ください。

No.	自治体	赤字はセシウム137、青字はセシウム134、緑字は合計値、ND()はNDの場合の検出限界値 単位Bq/kg			
		2014年 10月～12月	2015年 1月～3月	4月～6月	7月～9月
1	牛久市	検体数合計 26	検体数合計 10	検体数合計 48	検体数合計 15
		柿 ND(11.2/12.7)	たけのこ 98.3/30.2	どくだみ 19.9/9.42	じゃがいも ND(9.4/10.5)
		大根 ND(8.85/10.1)	しいたけ 76/26.3	ジュンベリー 12.4/ND(13.2)	山栗 40.3/11.3
				梅 7.12/ND(12.8)	
2	つくば市	検体数合計 12	検体数合計 4	検体数合計 23	検体数合計 6
		しいたけ 16	しいたけ 14	たけのこ 43	しいたけ ND(11.1/12.3)
	JAつくば市	検体数合計 5	検体数合計 3	検体数合計 29	検体数合計 1
		しいたけ 51.4	わらび ND(14.7/16.0)	たけのこ 33	ゴーヤ ND(10.0/9.0)
		ひらたけ 30.8	せり ND(10.7/11.8)	わらび 21	
		そば ND(10.6/11.8)		山うど ND(11.4/12.7)	
		大豆 ND(10.6/11.9)			
	JA谷田部	検体数合計 247	検体数合計 52	検体数合計 253	検体数合計 183
		原木しいたけ 21	たけのこ 41	たけのこ 22	小松菜 ND(17.3/19.4)
		サニーレタス ND(20.8/20.7)	切り干し大根 ND(25.6/29.4)	モロヘイヤ ND(20.8/22.4)	栗 ND(17.2/19.1)
3	龍ヶ崎市	春菊 ND(33.2/21.6)	ほうれん草 ND(17.2/19.4)	ブルーベリー ND(15.8/17.8)	からし菜 ND(16.0/18.0)
		検体数合計 31	検体数合計 19	検体数合計 15	検体数合計 14
		牛糞ミックス堆肥 18/ND(36)	堆肥 ND(35/32)	たけのこ ND(9/10)	イチジク ND(10/11)
		ひらたけ 12/ND(10)	きんかん ND(9/10)	ほうれん草 ND(9/10)	さつまいも ND(10/11)
4	守谷市	みかん ND(13/14)	はっさく ND(9/10)	梅 ND(8/9)	トマト ND(9/10)
		検体数合計 3	検体数合計 0	検体数合計 30	検体数合計 1
		ひらたけ ND(12.7/14.4)	測定なし	たけのこ 67.5/16.5	米 ND(8.52/9.38)
		柿 ND(11.1/12.1)		コゴミ ND(16.4/18.1)	
5	柏市	米 ND(8.04/8.82)		ふき ND(15.6/16.9)	
		検体数合計 100	検体数合計 53	検体数合計 67	検体数合計 38
		ミョウガ 50/16	乾燥しいたけ 155/45	たけのこの水煮 35/10	栗 88/24
		柿 27/ND(10)	レモン 26/ND(10)	たけのこ 39/ND(10)	枝豆 12/ND(10)
		柚子 18/ND(10)	しいたけ 17/ND(10)	レモンバーム 27/ND(10)	井戸水 ND(10/10)
6	松戸市	びわの葉 11/ND(10)	ローレル 13/ND(13)	キクラゲ 25/ND(10)	
		検体数合計 77	検体数合計 16	検体数合計 53	検体数合計 30
		イグチ茸 166.64/54.41	しいたけ 66.04/15.70	ブルーベリー 156.54/51.35	ぶどう 9.86/5.97
		ならたけ 24.52/8.05	ふきのとう 10.34/ND(5.36)	たけのこ 64.07/11.43	栗 10.15/ND(6.06)
		柚子 14.20/ND(4.76)	すだち 8.47/ND(6.36)	びわ 10.41/ND(3.94)	きゅうり 8.50/ND(5.67)
7	流山市	ひのなかぶ 13.73/ND(5.73)	みかん 7.31/ND(4.34)	梅 8.17/ND(7.27)	じゃがいも 5.66/ND(5.17)
		検体数合計 36	検体数合計 9	検体数合計 34	検体数合計 13
		いのしし肉(群馬) 26.55	いのしし肉(茨城) 18.47	しいたけ(群馬) 160.07	いんげん ND(16.36)
		柚子 22.17	たけのこ 8.94	からし菜 124.07	なす ND(13.54)
		クレソン 20.45	大和芋 8.17	クレソン 47.23	ピーマン ND(11.58)
8	我孫子市	紫蘇 16.02		たけのこ(松戸) 28.68	じゃがいも ND(11.29)
		検体数合計 114	検体数合計 57	検体数合計 109	検体数合計 62
		しいたけ(千葉) 224/77	しいたけ(茨城) 126/40	うなぎ 134/33	月桂樹 67/21
		月桂樹 115/27	みかん 24/6	たけのこ 51/13	レンコン 37/8
		柚子 36/12	ローズマリー 29/ND(10)	どくだみ 27/18	さつまいも 33/ND(7)
		柿 21/ND(6)	きんかん 19/6	ふきの葉 30/ND(5)	ふき 17/ND(7)

品名の()内は産地を示す。産地表示のないものは各市内産。

データが多く測定が最近まで継続されている茨城県2市(牛久市、龍ヶ崎市)、千葉県2市(柏市、我孫子市)のタケノコとシイタケのセシウムの合計値をグラフにしてみました。
NDは0として、検出限界値を表示しています。

たけのこ



しいたけ



崎山比早子先生の連続講座 ～放射線を学ぼう～



(汚染地域の各地での連続支援開催。内容は1回完結です)

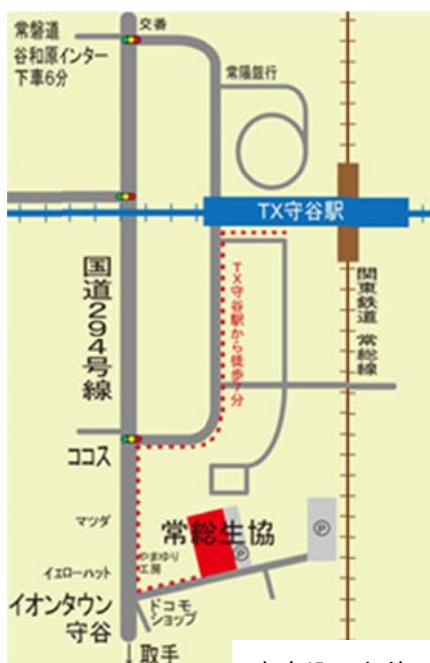
どなたでも参加できます!

原発事故からまもなく5年目
なんとなく事故はもう終わった感じ。
放射能の事は、口に出しにくい雰囲気。
でも、やっぱり放射能はなくなっていないし・・・
子どもの健康について心配だけど・・・



こんな事を感じている方はいらっしゃいませんか?
放射線について、みんなでもう一度心配なことを聞いてみませんか。
子どもたち、私たちの健康を守るために、正しい知識を身につけませんか。

日時 2016年1月24日(日) 午後1時～3時
場所 常総生協本部 (茨城県守谷市本町281、守谷駅土塔口から徒歩7分)
資料代 500円 **定員** 60名 ※親子ルームを用意します。



崎山比早子先生のプロフィール
医学博士。元放射線医学研究所
主任研究官。元国会事故調査委
員会委員。高等学校所属。



※親子ルームは託児ではありません。
常駐スタッフがお世話しますが、保護者様の携帯番号等を受付
で記入頂いてから会場に入って頂き、スタッフからの連絡にす
ぐ対応できる様お願いします。親子ルームでは講演を中継する
予定です。(定員15名)

共催：常総生協 脱原発と暮らし見直し委員会
関東子ども健康調査支援基金

後援：放射線を学ぶ会

申込先：常総生協 Tel 0297-48-4911
担当 米山 Fax 0297-45-6675

↓ 申込にお使いください

☆1/24(日)崎山比早子先生の講座に参加します。

お名前 _____

お電話 _____

親子ルーム申込み (お子さんのお名前) _____ 才)

(お子さんのお名前) _____ 才)

先生への質問